

新たなにぎわいの拠点目指し

大更駅周辺と隣接地域のまちづくり整備計画を策定

計画策定の必要性

大更駅周辺地域は、本市の人口および住宅の集積地域で、かつ、商業機能、文化機能、交流機能といった市の核となる要素を多く含み、今後重要性が高まっていく地域です。また、市の人口は、年々減少傾向にあります。この傾向に歯止めをかけるためにも、住民が中心となって行うまちづくりによって活気を取り戻していかなければなりません。この背景を踏まえ、地区の現状と整備課題を整理し、地域のにぎわい創出に向けた基

本計画を策定しました。

検討の主役は住民

計画の策定に当たり、必要となるのが、現時点での課題と方針の検討です。この検討について、市が一方的に行うのではなく、地元商店の人や住民が主体となり、「まちづくりワークショップ」や「まちづくりワークショップ」を実施。22年度から23年度にかけてワークショップを9回、懇話会を3回開き、課題の抽出・協議、素案づくりを行ってきました。また、商工会との意見交換も3回行い、

地域の現状を把握するための検討を重ねました。

浮かび上がる課題

その結果、主なものとして、以下の課題が挙げられました。

- 総合的な整備課題
 - ①大更駅前地区と駅東地区の商業環境の改善や集客性の向上、住民の生活利便の向上
 - ②都市計画道路大更駅前線や駅前広場などの整備をきっかけとした両地区の特性を生かす機能分担と一体的な発展
- 駅前地区
 - ▼大更駅への自由通路の設置および周辺の歩行環境の改善

■駅東地区
▼駅周辺部に、集客性のある施設と人口の受け皿となる住宅地の整備

整備計画の方針は

以上の課題の提起を受け、計画では、図1に示す整備計画を策定しました。主な方針は、以下のとおりです。

- ①大更駅東西自由通路・駅舎の整備
- ②商業機能の配置・商業地の形成
- ③駅西口・東口の整備
- ④大更駅前線の整備
- ⑤拠点施設の整備

事業計画の見通し

計画は、西根病院の移転や道路の新設、改良などを含め、29事業により構成されています。既に着手している事業も含み、今後5年以内に22事業の着手を計画しています。ただし、財源などの総合調整により、事業の内容や着手時期に変更が生じることがありますので、ご理解ください。

県や市に協力

なお、24年度は次に示す整備に取り組みしていきます。

- 県の取り組み（23年度からの継続）
 - ▼県道大更好摩線（設計調査）
 - ▼都市計画道路大更駅前線（整備手法検討）
 - ▼大更駅西口駅前広場（実施設計）
 - ▼市道大更中央線（用地・補償調査など）
 - ▼市道山子沢線（用地・補償など）

図1 基本計画図 ※(都)は都市計画道路を表します

■土地利用計画凡例

主な都市機能（業務・サービス系）
主な都市機能（商業系）
住宅団地
駐車場・駐輪場
公園・緑地
駅前顔づくり施設
大更駅周辺活性化のために活用するゾーン

■道路交通計画凡例

既設の歩道
新設する歩道
簡易カラー舗装
交差点の見通しの確保
踏切の拡幅
歩行者動線ネットワーク
国道の歩行空間整備

